

YIP PIN XIU

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- 5x Paralympic Gold Medallist and 10x World Record Holder
- Ex Nominated Member of Parliament



パラリンピック選手であり、5度の金メダリストであるイップ・ピン・シウは、パラアスリートとしても、地域社会の擁護者としても先駆者です。

神経変性疾患であるシャルコー・マリー・トゥース病を持って生まれたピン・シューは、その病気に伴う限界を常に克服してきました。わずか16歳で、2008年北京オリンピックでシンガポール初のパラリンピック金メダルを獲得し、シンガポール代表チーム最年少選手として国民的英雄となりました。この歴史的な勝利は、国歌「マジュラー・シンガプーラ」がオリンピック会場で初めて演奏された記念すべき日でもありました。

ピン・シューの卓越への道のりは困難を伴いましたが、成功への飽くなき追求は明らかです。2016年の3度目のパラリンピックでは、女子50m背泳ぎと100m背泳ぎS2で金メダル2個を獲得し、どちらも世界記録を樹立しました。彼女は2021年の東京パラリンピックでもタイトル防衛に成功し、その圧倒的な強さを維持しました。これにより、自身の伝説がさらに確固たるものとなり、シンガポールのスポーツ史に貢献しました。

ピン・シウは、スポーツ界での功績以外にも、社会変革に深く関わっています。シンガポール史上最年少の国会議員に任命された彼女は、インクルージョンとスポーツ文化の向上を訴えてきました。大学におけるセクハラ問題に対処するための国家規範の策定を提唱しました。現在、彼女は、ハラスメントや虐待のないスポーツ環境の創出を目指すセーフスポーツ委員会に所属しています。またWADAアスリート委員会のメンバーでもあり、クリーンなスポーツの健全性を世界的に推進しています。さらに、ピン・シウは、シンガポールの若者を将来に向けて育成する全国青少年評議会の理事会や、シンガポール障害者スポーツ評議会の執行委員会にも貢献し、シンガポールにおけるパラスポーツの発展を推進しています。

イップ・ピン・シウは、スポーツ界での成功と擁護活動を通じて献身と影響力の典型を示し、スポーツ界内外で多くの人々に刺激を与えています。

Topics

- Asia
- Diversity
- Leadership
- Motivation
- Sports
- Women